

令和6年度 事業計画書

(2024年4月1日～2025年3月31日まで)

1. アーカイブ事業関連

グラフィックデザイン、グラフィックアート等に関する作品や資料の収集、保存及びその公開を行う。また、活動に関わる諸テーマについて、独自で調査、研究を実施すると共に、国内外機関・個人との共同研究等も行う。【定款 第4条(1)、(3)、(6)】

- ・ 田中一光アーカイブ（京都市）の整備を進め、研究者等の利用を促進する。
- ・ コレクション・データベースの精緻化と利用促進を図る。
- ・ ポスター高精細デジタル画像化は、将来的にポスターアーカイブ全作品のデータ化を目標に継続的に進める。
- ・ ポスターアーカイブは、寄贈の希望があった場合、アーカイブとして受け入れが妥当かを財団内で検討のうえ、寄贈を受け入れる。

(1) 田中一光アーカイブ

令和5年度に京都市内に移転した田中一光アーカイブの資料整理とコレクション・データベースのメタデータの作成を進める。財団ウェブサイトでの情報掲載によって研究者等の利用を促進する。

(2) ポスターアーカイブ

国内外の現代グラフィックデザインの秀作の収集活動を継続する。寄贈受け入れ予定作家は、宇野亞喜良氏ほか。

現在、国内124作家、海外120作家、計244作家、24,334の作品を収蔵している。

(3) タイラーグラフィックス・アーカイブ

CCGAでの展示事業は終了したが、他美術館等から要請があった場合は、これまでどおり作品貸出を行う。

(4) ポスター高精細デジタル画像化

ポスター作品の高精細デジタル画像化を計画的に継続する。

(5) 作品データベースの活用

文化資源デジタルアーカイブ化の動向を踏まえ、DNP文化振興財団コレクション・データベース <https://collection.dnpfcp.jp/> の精緻化と利用促進をはかる。

2. 展示事業関連

グラフィックデザイン、グラフィックアート等を中心とする優れた作品等の展示活動を行う。必要に応じて国内外機関、個人との共同企画を行い、また、展示施設の管理運営を行う。【定款 第4条(2)、(6)】

下表に従って、ギンザ・グラフィック・ギャラリーは計7回、京都d d dギャラリーは、計5回の展覧会を開催する。

● ギンザ・グラフィック・ギャラリー展覧会事業 (予定)

企画展	会期
第401回 TDC 2024 展	4/1 (月) ~5/15 (水)
第402回 八木幣二郎展	5/24 (金) ~7/10 (水)
第403回 JAGDA 新人賞/亀倉雄策賞受賞展	7/22 (月) ~8/24 (土)
第404回 上西祐理展	9/3 (火) ~10/23 (水)
第405回 日本のアートディレクション展 2024	11/1 (金) ~11/30 (土)
第406回 菊地敦己展	12/10 (火) ~2025/2/1 (土)
第407回 呂敬人展	2/12 (水) ~ 3/27 (木)

● 京都d d dギャラリー展覧会事業 (予定)

企画展	会期
第241回 永原康史展	3/27 (水) ~5/26 (日)
第242回 ヴェロニカ・ディッティング展	6/5 (水) ~7/28 (日)
第243回 GRAPHIC WEST 10:立平面社展	8/7 (水) ~10/14 (月・祝)
第244回 ミューラーコレクション・ドイツポスター展	10/24 (木) ~2025/1/13 (月・祝)
第245回 GRAPHIC WEST 11:南塚也展	1/23 (木) ~3/23 (日)

● インターネットでの情報発信の強化

財団公式ウェブサイトでの展覧会情報掲載に加えて、プレスリリース配信サービスや、展覧会特設ページ、SNSギャラリー公式アカウントでの情報発信を継続し、展示事業の認知度向上、及び来場促進を図る。

3. 教育・普及事業関連

グラフィックデザイン、グラフィックアート等に関するセミナーの開催、刊行物発行やインターネット等を通じた情報提供等の教育・普及活動の実施。【定款 第4条(4)】グラフィックに関する知識・関心を、一般の方々に広げることが目的に、講演会、対談、ワークショップ、図書等の刊行、インターネットを通じた情報提供を行う。

- ・ g g g B o o k s 4 点を発行予定。
アニュアルレポートは、8月に発行予定。
- ・ g g g B o o k s は、電子書籍版の発行も継続する。
オンラインを活用した情報発信を継続する。

● 図書の刊行

展覧会と連動して、作品集『ggg Books 4点（発行予定作家：八木幣二郎、上西祐理、菊地敦己、呂敬人）を発行する。

● アニュアルレポート発行

『Graphic Art & Design Annual 2023』を8月に発行する。あわせて次年度刊行予定の2024年版の企画・編集を開始する。

● ギャラリートーク

g g g で、リアルでのギャラリートーク・講演会を開催、YouTube 財団公式チャンネルでのギャラリートーク等の動画配信も引き続き行う。

● オンラインを活用した情報発信

X、Instagram のギャラリー公式アカウントを用い、展覧会やグラフィック文化の魅力を伝える動画、画像、記事などのオリジナル・コンテンツを配信する。
なお、YouTube 財団公式チャンネルのオリジナル・コンテンツとして注目のクリエイターによる対談シリーズについては、今後も配信を継続する。

4. 国際交流事業関連

グラフィックデザイン、グラフィックアート等を中心とした国際交流を行う。【定款第4条(5)】

- ・ 中国・広州デザイントリエンナーレに永井一正氏作品の貸し出しを協力を。
- ・ ドイツ在住デザイナーであるジャンピン・ヘ氏の依頼により、ベルリンのギャラリーで「福田繁雄」展開催に協力を。
- ・ デザイナーの国際組織である国際グラフィック連盟（AGI）日本事務局サポートの一環としてAGI総会に参加し、海外作家との情報交換を行う。

● 第1回広州デザイントリエンナーレ

広東美術館にて令和6年1月16日から5月31日の会期で開催される第1回広州デザイントリエンナーレに協力。永井一正氏のポスター作品22点の貸出しを行う。

● 福田繁雄ポスター展

アジアとヨーロッパとのグラフィックデザイン文化の交流拠点を目的に設立されたCVA（ベルリン視覚芸術センター）にて開催される福田繁雄展に協力（会期：令和6年4月5日から6月7日）。ジャンピン・ヘ氏とともに選定したポスター作品100点を展示予定。

● AGI総会

令和6年9月にスイス（バーゼル）にて開催が予定されているAGI総会に、日本人会員事務局として財団職員を派遣する。

この他、世界各国作家との交流及びグラフィックデザイン界の情報収集を、引き続き行う。

5. 研究助成事業関連

グラフィックデザイン、グラフィックアート等を中心とした芸術文化活動に対する顕彰及び助成。【定款 第4条 (7)】

- ・ グラフィック文化に関する学術研究助成オンライン申請システムを導入し、応募者の増加を図る。
- ・ CCGAが立地する福島県須賀川市で開催される田善顕彰版画展への協賛を継続する。

● グラフィック文化に関する学術研究助成

募集テーマ：

A部門 グラフィックデザイン、グラフィックアート全般をテーマとする学術研究

B部門 グラフィック文化に関するアーカイブをテーマとする研究

募集期間：令和6年4月1日～6月14日まで

助成対象：研究機関に在籍する研究者・大学院生・学芸員等及びそれに準じる研究能力のある者。

選考： 一次審査（申請書類による書類審査）、二次審査（9月開催予定の審査委員会）により、令和6年度採択研究を10件程度選考する。また、令和5年度採択研究のうち継続助成を希望する研究についても、継続助成の可否を審査（書類審査）する。

スケジュール：

- 4月 募集開始
- 6月 応募締め切り
- 7～8月 一次審査
- 9月 二次審査
- 10月 令和6年度審査結果の発表
- 12月 継続助成の審査、助成金の交付

● 福島県須賀川市で開催される文化事業への協賛（予定）

対象	主催	年月	金額	備考
第35回田善顕彰版画展へ協賛	須賀川商工会議所青年部	2025/2	50,000円	須賀川出身の江戸期の銅版画家、亜欧堂田善顕彰を目的とする、須賀川市内小中学生対象の版画コンクール。例年継続。

以上